

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

| | | |
|----|-------|-----------|
| 受付 | 番号 | 15 |
| | 令和 | 3年 5月 27日 |
| | 午前・午後 | 2時 52分 |

| | | | |
|-----------------------------------|---|--|--|
| 議会名 | 令和 3 年 第 4 回 佐野市議会定例会 | | |
| 発言者 | 議席番号 21 番 春山敏明 | | |
| 答弁を求める者 (選択してください) | <input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長 | | |
| 一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください) | <input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ <input type="checkbox"/> 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし | | |
| 大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目) | 小項目 (具体的な質問内容) | | |
| 1, 秋山川「河川激甚災害対策特別緊急事業・災害関連事業」について | <p>①、秋山川「河川激甚災害対策特別緊急事業・災害関連事業」の令和3年3月時点の工事状況の資料によりますと、まず令和2年4月からの「応急工事」が令和2年9月に完成した事業の一つと、令和3年3月末までに終了した8事業を合わせ9事業が完成とあります。そして、工事期間を令和3年1月から10月までとしているいずれも「護岸工事」の4事業と、今年4月から1年間工事期間をみた護岸工事2事業があります。そこで、これらの事業は工事名の次の括弧書きにおいて「激甚対策」とあるのですが、どんな「激甚対策」が施される事業なのかお聞きします。</p> <p>②、同資料より、工事期間を今年4月から1年間工事期間をみた「開削工事①の開削工事秋山川その1」の「安全川補」とあるが、どんな工事をするのかお聞きします。</p> <p>③、同資料より、工事名「護岸工事⑥の一級河川秋山川護岸工事その1の激甚対策工事」の工期終了が令和3年3月から8月に延長され、更に、「護岸工事⑧の「護岸工事秋山川その2の災害関連工事」の工期終了が3月から7月にそれぞれ延長になった理由をお聞きします。</p> | | |

2, 気象変動による市街地の「内水氾濫」対策について

④、同資料より、堰工事の①においては、令和2年10月より、「一級河川秋山川堰下部工設置工事その2」が、激甚対策として8月までの工事期間としてあります。同様の堰工事②の「取水樋管ゲート設置工事秋山川その25」が、激甚対策として11月までの工事期間としてありますが、いずれも堰工事において、どんな激甚対策の工事なのかお聞きします。

①、全国のアメダスが集計した時間雨量50ミリメートル以上の豪雨の発生回数が、昭和50年代は平均174回だったものが、平成20年から平成29年には平均238回となり、約30年前の1.4倍に増加していると説明されています。

そこで、小項目の①の質問として、本市はこの全国平均の「1.4倍の増加」に対し、同じ位なのか、少ないのか、多いのか、全国平均に比べてどうなのかお聞きします。

②、今年3月に策定になり令和12年度までを経営戦略期間としている「佐野市下水道事業経営戦略」には、27ページに、質問①で用いた「1時間降水量50mm以上の年間発生回数の推移」の国土交通省のグラフ資料が掲載され、本市の下水道における浸水対策達成率の説明として、令和7年(2025年)年度までの中期目標としては、浸水対策率を14.0%に、対策済み面積を413㍍にするとし、今後も浸水対策事業を進めていきます」とあります。そこで、こういった中期目標値とした理由についてお聞きします。

③、近年、市西部を流れる秋山川へ流れ込む流量は、都市化によって浸透量も減り、また、菊沢川の放水路も完成し合流流量も益々増える状況であると予想しています。そこで、市西部の内水氾濫を防ぐ対策として、令和7年度(2026年度)以降の後期計画としての構想を今どう考えるのかお聞きします。

3, 秋山川水辺の楽校緑地にドクターヘリポート場としての整備運航復活について

①、本日の最初の大項目1の質問の秋山川の「河川激甚災害対策特別緊急事業・災害関連事業」の小項目①で触れた4つある「護岸工事」の内の一つ、工事名「護岸工事秋山川その21」は、秋山川水辺の楽校緑地右岸であり、水が流れる低水路と右岸堤防の間が一番広い部分で、これまでのドクターヘリポート場として活用されてきた箇所です。この高水敷部分の工事期間終了が令和3年10月となっています。よって、この工事が進み終了前には、高水敷、つまり、これまでの「水辺の楽校緑地」エリアに芝を貼って仕上げるのではないかと、これまでの他の箇所の護岸工事の仕上げ方法からしてそう思うのです。そこで、ドクターヘリポート場範囲は、芝貼り仕上げではなく、一般的なヘリポートとして目にするアルファベット大文字のHと大きく記したコンクリート施工等のドクターヘリポート場として整備して頂き、ドクターヘリポート場を復活してもらえないかお聞きします。